

連盟だより

# ユニテ

佐賀県看護連盟

Vol. 30

令和2年7月



「届けよう看護の声を!私たちの未来へ」  
スローガンが新しくなりました!



## Contents

- ごあいさつ ..... (2)~(3)
  - 佐賀県看護連盟会長
  - 日本看護連盟会長
  - 佐賀県看護協会会長
  - 参議院議員 たかがい 恵美子
  - 参議院議員 石田 まさひろ
  - 衆議院議員 あべ 俊子
  - 衆議院議員 木村 やよい
- 支部長あいさつ ..... (4)~(5)
- 新任あいさつ ..... (6)
- たかがい恵美子議員講演会 ..... (7)
- 研修会報告 ..... (8)~(9)
- 青年部報告 ..... (10)
- まめ知識 ..... (11)
  - ~人類と感染症について~
- 要望書出しました! ..... (11)
- 施設紹介 ..... (12)
  - 杵藤訪問看護リハビリステーション ふみ
- 編集後記 ..... (12)



Unité(ユニテ)..... 「統一性」や「まとまり」、行動の「一貫性」などを意味するフランス語。  
 「1」や「1つ」を意味するun(アン)を語源とする。同じくフランス語のunion(ユニオン)がバラバラなものの寄せ集め的な結合を意味するのに対して、unité(ユニテ)は同質のもの、より純度の高い統一を表す。  
 また、単一の基本単位を意味する英語のunit(ユニット)よりも抽象的、理念的な概念

# ごあいさつ



佐賀県看護連盟会長  
**内田 素子**



この度、会長に就任し、新体制がスタートいたしました。  
これまで長年にわたり連盟活動に尽力された陣内前会長をはじめ関係の皆様  
の意思を受け継ぎ、会員の皆様のお力をいただきながら、活動の推進に努  
力してまいります。

今般の新型コロナウイルス感染症対応については、長期に及ぶことも予  
測され、現場の看護職の皆様のご苦勞はいかばかりかとお察しいたしま  
す。看護職の負担軽減に向けて、看護連盟は看護協会と連携して要望活  
動、情報発信等を継続していることから、何が起こるか分からないこの  
時代にこそ強い組織力が不可欠であることを実感しています。

少子超高齢多死社会を迎え、様々な制度改革が進められる中、看護職  
が専門性を発揮し社会のニーズに応えるために、会員一人ひとりの声を  
大切に連盟の役割を果たしていきたいと思っております。どうぞよろしく  
お願いいたします。



佐賀県看護連盟の皆さんこんにちは。

新型コロナウイルスの感染を最前線で、頑張っておられる臨床の看護  
職に心から感謝申し上げます。看護連盟は、皆さんたちにエールを送る  
サイトをツイッターで開設しました。全国で励まし合いながら、この国  
難を乗り越えていきましょう。

第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が二期  
目の当選を果たしました。ひとえに皆様のお力と感謝しております。

日本看護連盟は創立60周年。先輩看護職が長い時間築いてきた職能  
活動は、24時間365日ベッドサイドで病める患者と共にありました。今  
年は、スローガンを見直し、臨床と看護政策を結ぶ情報発信に力を入  
れていきます。

子年（ねどし）は、新しい生命力が想像され「子孫繁栄」をもたら  
します。人生100年時代の連盟は、会員を増やし、看護協会と共に国民  
の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築し、看護職の地  
位向上をめざします。



日本看護連盟会長  
**大島 敏子**



佐賀県看護協会会長  
**南里 玲子**



佐賀県看護連盟会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度は、  
季節が冬から春へと変化する頃、まるで花だよりを覆い隠すかのように、  
新型コロナウイルス旋風が吹き荒れました。「感染爆発」「クラスター」  
「医療崩壊」と、日々重苦しいニュースばかりが流れ、その情報に不安  
と焦燥が募りました。

感染症医療の最前線で任務に就かれている看護職や、昼夜を問わな  
い市民からの不安・憤りを訴える相談や、検査関連業務に対応している  
保健師等の奮闘や疲弊を思うと、最大級の感謝とともに胸が痛む思  
いです。看護協会のナースセンターからも、求職中の潜在看護職や  
「とどけるん」で離職を把握した方々に対し、メールや電話で現場  
の求人情報の提供をさせていただきました。

全国各地で看護職が必要とされています。一方で、その看護職を守  
り、十分な評価をしてもらえるよう政策的に動くことも重要だと考  
えます。看護連盟のお力を借りながら活動を続けていきます。

早く平穏な日々が戻りますように。

国 勢 報 告



衆議院議員  
自民党国会対策副委員長  
**あべ 俊子**

先般の新型コロナウイルス感染症対策への皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。

看護職の皆さまには、現場にて大変ご苦勞・ご負担をおかけしていると承知しております。国政からの皆さまへのご支援を考え、自民党看護問題対策議員連盟として、「いのちの最前線に立つ看護職等の安全な就業環境の早急な実現を求める決議」を自民

党・政府に提出いたしました。  
新型コロナウイルス感染症者の「いのち」を守るために、最前線で戦っている看護職の「いのち・暮らし」を守る必要があります。

そのために必要なガウンなどの個人防護具の確保、医療者の家族を新型コロナウイルス感染症から守るための宿泊費の補助、保育・介護支援などを求めました。あわせて、長時間勤務に係る心身負荷を勘案した技術評価の確実な実施も、強く求めていきます。

平穏な日々が戻りますよう、国政にて精一杯活動させていただきますので、引き続きご指導賜りますよう、よろしく願っています。



衆議院議員  
総務大臣政務官  
**木村やよい**

佐賀県看護連盟の皆さま、こんにちは。

今、現場で、医療崩壊をギリギリのところまで食い止め、頑張っておられます全ての看護職の皆さまに、心からのエールを送ります。未知なるウイルスとの闘い、リスクと不安の中で使命を果たしているにもかかわらず、ご本人やご家族が差別や偏見の標的にされている現実に胸が痛みます。

皆さまの専門性を正しく評価し、直接手当というかたちで報われるよう、力を尽くしてまいります。

私が所属する自民党女性議員飛躍の会（議連）では「医療崩壊を防ぐために自らの危険を顧みずに業務に従事している看護職等に直接10万円程度の手当て等を与える」との文言を入れた要望を、4月9日、安倍総理に手渡してまいりました。

未曾有の国難ではありますが、全力で日本の医療と看護職の皆さまの労働環境と健康を守るよう頑張ります。この国難を看護の力で乗り越え、心身ともに健康な日本を取り戻してまいります。一緒に頑張りましょう！



参議院議員  
自民党文部科学部会長  
**たかがい 恵美子**

大暑の候、佐賀県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

いのちの最前線で活躍する看護職の仲間の皆様には、大変なご苦勞をおかけしております。激務の中、多大なるご貢献を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。また、ご家族の皆様にも心より御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの猛攻は暮らしの平穏を揺るがし、大切な生命を奪い、保健医療の現場に深い影を落としています。看護職は国民のいのちを守る専門家であり社会の大切な宝です。どうかご自愛の上、感染制御等の任務にあたられますよう切に願っております。

各々の活動する場所は離れておりますが、心は何時も傍にあることを信じ共に苦難を乗り越えたいと思います。私も皆様と共に、いまできることに全力を尽くします。

緊急経済対策においては、看護職の安全な就業環境の確保と厚い報酬の担保、広域調整システム構築の補助、保育・介護等家族への支援を含む就業継続支援など様々な事業が実施されています。また学校養成所等における休講・実習中止等への柔軟な救済と卒後の特段の研修実施等を提案し、看護学生の将来不安を払拭する緊急措置についても検討を進めています。なるべく早く、皆様にご実感いただける政策が発信されるよう、できる限りがんばります。



参議院議員  
**石田まさひろ**

佐賀県看護連盟の皆様、日頃よりご支援を賜りありがとうございます。医療現場や介護現場、または家庭においてさえ、未だ新型コロナウイルスによる不安や疲勞と戦いながら活動していらっしゃることに拝察いたします。現場で働く会員各位と、お支え頂いているOB・OGの皆様にご心より感謝申し上げます。

今年はこれまで新型コロナウイルスの対応に追われる日々でした。現場から多くの声を頂戴し、課題解決や看護職の皆様のために少しでも力になれるよう尽力してきました。

その結果、第二次補正予算では、看護職への慰勞金給付の実現をはじめ、病院への補助金創設、医療用マスクなどの調達強化、通院に必要な地域公共交通の感染防止対策補助金も創設しました。さらに訪問看護ステーション等の中小企業等の資金繰り支援強化や産休前妊婦の休業補償、看護師養成のための学内演習用シミュレーター等の貸与も行うことになりました。

これらは日頃から皆様が生きて現場の生の声を届けてくださったからこそ実現したものです。そして大切なことは感染者数の拡大を抑え、死者をいかに減らすか。日本の医療にとって、日本国民を守るために重要な局面は続きます。私も、国政の場で日本の医療を守る活動を必死で続けて参ります。佐賀県看護連盟の皆様、引き続き現場の声をお聞かせください。力を合わせ看護の力でこの困難を乗り越えていきましょう。

# 支部活動報告



江副千鶴子



岡部 恵子



前田真理子



古田 ヒサ

## お疲れ様でした！

長きにわたり支部活動にご尽力いただきありがとうございました。今後ともご指導、ご協力くださいますようお願いいたします。お疲れ様でした。



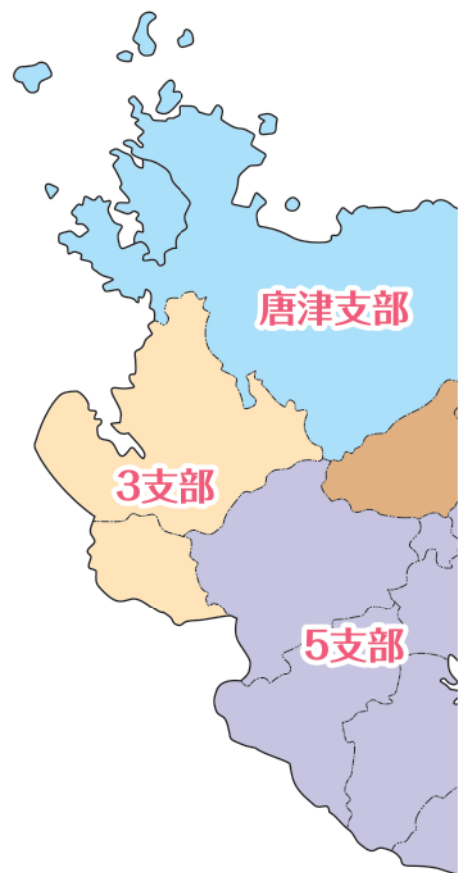
1支部 支部長  
野田 秀子

新型コロナウイルス感染症に立ち向かっておられる医療従事者の皆さんお疲れ様です。「本当にありがとうございます。」という気持ちでいっぱいです。

緊急事態宣言が解除になっても、第2波第3波がやってくる。コロナとの戦いは長期戦といわれています。看護連盟と看護協会から、国政の場では石田昌宏、高階恵美子、阿部俊子、木村弥生、4名の議員とともに皆さんへの支援のため声を挙げ続けています。

このような時ではありますが、令和2年度1支部研修会の予定としてミニ研修会・施設代表者会議では交流会意見交換会を、また、OB会員、青年部会員とも交流会研修会を考えております。

今後とも連盟活動に変わらぬご理解とご支援を宜しくお願いいたします。



(新)2支部支部長  
江里口八千代

令和2年度より支部長という大役を務めることになりました。現在、医療法人ひらまつ病院看護部副部長として勤務しております。

今年は新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、毎日多忙の中、院内感染防止のための皆さまの多大な努力を感じています。「質の高い看護を維持できる」、「少しでも職場環境をよくする」ために、皆さまからの現場の意見を集約し国政へ届けることが大切な役割と考えております。

国政へ代表者を送り、問題解決に取り組んでいただけるよう任期の間佐賀県看護連盟会長はじめ、本部役員の皆さま、支部役員の皆さま、会員の皆さまのご支援・ご協力のもと微力を尽くしてまいりたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



(新)3支部支部長  
前田貴美子

この度、3支部長を引き受けることになりました前田貴美子と申します。会員の皆様には、日頃より連盟の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年初めからの新型コロナウイルスの国内感染拡大を受け、これまで経験したことのない感染状況や生活環境の変化に直面しています。このような中、保健・医療・福祉等の各現場で、ご自身の身の危険やご家族への感染の不安などを抱えながら、日夜「命を守る」業務に取り組まれているすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

これまで支部役員として支部活動に参加して参りましたが、今回支部長の任をお引き受けし、大役の不安はありますが、微力ながら先輩方のご助言や会員の皆様のご意見・ご提案を伺い、会員の皆様・支部役員の皆様のご協力をいただきながら支部活動を行っていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。



4支部 支部長  
**江頭恵美子**

今や、新型コロナウイルス感染が世界中に拡大しています。マスク不足から始まり、緊急事態宣言へと進み、色々な行事・会議・イベント等が中止になり、なにかと慌ただしく過ぎ去って行きます。医療・介護の最前線で努力して下さっている会員の皆様、本当にお疲れ様です。5月14日には緊急事態解除となりましたが、まだまだ自粛生活が続いています。1日も早く終息して、もとの日常が戻って来ますように祈っています。何より、それまで皆様が健康でいられますように願うばかりです。

今回の事で経済等の崩壊を招き、政府の対応が問われています。「政治は自分には関係ない」とつぶやいて選挙に行かなかった方も、今回こそ「政治は自分や仲間の命を左右する」と言う事を肝に銘じて貰いたいと思います。今は連盟活動も自粛中ですが、看護や介護に携わる皆さんが、やりがいと誇りを持って仕事に専念出来るように、今後のご協力をお願いします。4支部研修会を9月と2月の年2回行っています。多くの方のご参加をお待ちしています。

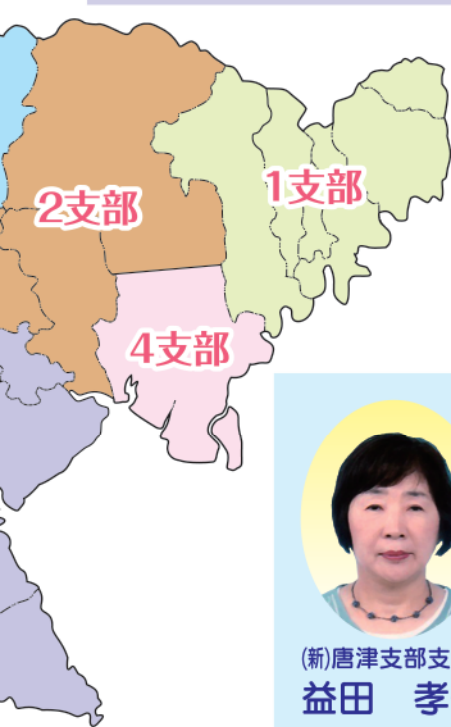
昨年8月は佐賀県を襲った大雨で大変な目に遭いましたが、今年はまた、新しい感染症COVID-19によって各種イベントが延期されたり、中止になったりと生活が一変してしまいました。そんな中でも、医療従事者への感謝の気持ちが具体的な形で表されており、私も最前線で働かれている看護職仲間たちに対する尊敬と誇りの気持ちを日々新たにしています。



5支部 支部長  
**谷川 寿栄**

そして、医療従事者の中からCOVID-19の犠牲者が出ないように、と祈っています。5支部においても、今年度の支部研修会のみならず支部役員会でさえも開催を躊躇している現状です。支部の皆様には決定次第連絡差し上げることとします。

しかしながら、こんな状況だからこそ日常の社会活動には政治が重要であり、私達看護職は健康を守るために政治活動を続けなければなりません。ご協力お願いいたします。



(新)唐津支部支部長  
**益田 孝子**

今年度、支部長の役を引き受けることになりました。支部役員は長く担当させて頂いておりましたが、今回の役に重責を感じている次第です。また、今年は新型コロナウイルス感染のため非常事態宣言が出され、一部の県を残し解除にはなりましたが、感染への不安をぬぐえません。今も多くの看護職が感染の危険と隣り合わせで頑張っておられます。唐津市でも看護職への感謝とエールを送ろうと、唐津城をブルーにライトアップしています。看護職にもっと安全で安心な職場が提供される事を願っています。その力のためにも、一人でも連盟の会員を増やすことを目標に頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



(新)OB支部支部長  
**倉守みどり**

今年度は研修会、会議等はCOVID19で中止、総会は縮小で活動しております。現場で奮闘しておられる看護職の皆さん、本当にお疲れ様です。

昨年は参議院議員選挙があり、何とか当選することができました。ご支援・ご協力、ありがとうございました。しかし、佐賀県の目標数には程遠く、協会員5,000人、連盟会員1,500人おられますが、協会員が全員、または、連盟会員が本人とご両親、配偶者、彼・彼女、子供さんと一緒に投票に行ってもらえば目標数を楽に超えます。皆さんの大事な1票を自分たちの働く職場環境を良くしていくために行使してください。

皆様のご支援・ご協力を得、9年間幹事長を勤めることができました。ありがとうございました。今度は定年終えても連盟にご尽力いただいている諸先輩と一緒に活動をしてまいりたいと思います。どうぞ、よろしく申し上げます。

# 新任者紹介

## 顧問 陣内 登貴子



2020年は日本にとって2度目のオリンピック開催の記念すべき年になるはずでしたが、年初からの新型コロナウイルス感染によりオリンピックをはじめ全国的な休校やほとんどのイベントが中止に追い込まれ、又、経済も低迷し未曾有の国難となりました。幸い、皆様の努力により緊急事態宣言も解除となり、コロナとの共存ではありますが少しずつ日常を取り戻すことができました。医療の現場で大変な思いをされた看護職の皆様には心より感謝申し上げます。

佐賀県看護連盟でも多くの研修や会議の中止をやむなくされました。会長として3年目の締めくくりの時期にこのような状況になって何もできず、会員の皆さまには心苦しい思いでいっぱいです。3年間という短い期間ではありましたが、県役員、支部長さんをはじめ支部役員の皆様には色々ご協力をいただきありがとうございました。これからは、顧問として会長時代の経験を活かし、佐賀県看護連盟の一助となれば幸いです。

## 幹事長 宇曾谷 美保子



令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、看護職の皆様におかれましては大変な一年の幕明けになったことと思います。現場で働いている看護職の皆様には心より感謝申し上げますとともに、この事態が一日も早く終息し、日常に戻れることを心より願っております。

さて、このたび倉守前幹事長の後任として、就任いたしました。看護連盟の活動は私一人ではもちろん、役員だけでは運営することはできません。なにより会員の皆様のご協力があつてこそ成り立つことができます。看護連盟は、本年度から新しく「届けよう 看護の声を！ 私たちの未来へ」をスローガンに政策の強化を目指しています。様々な現場の声を政策へつなげ、看護の向上を目指すことができるよう職責を全うしたいと思います。今後も会員の皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 監事 日浦 あつ子



この度、監事をさせていただくことになりました日浦あつ子です。  
今年新型コロナウイルスの感染拡大で、医療現場も大変な状況が続き世の中の仕組みさえ変わってきております。このような中、看護職の処遇改善と働き方改革を一層進めて行くためにも、現場の声を政治に届けて頂くように、会員の皆様とともに微力ながら努力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2020年度 佐賀県看護連盟通常総会



日時：令和2年6月20日（土）  
場所：看護センター  
報告：県幹事 福田みどり



梅雨の間の晴天に恵まれ看護連盟総会が開催されました。新型コロナ対策による検温、マスク、手指消毒、体調確認後テーブルに各1名～2名のソーシャルディスタンスをとり（参加者53名、委任状1,234名、役員8名）総数1,295名で開催されました。

陣内会長挨拶、前回選挙報告から始まり、長年の連盟への献身に感謝し、前田真理子さん、西孝子さん、西岡明美さん、永野嘉美さん4名が会長表彰されました。感染対策が重視されている中、2020年度スローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」を上げ、看護のチカラで健康な社会を創る。看護職国会議員、地方議員と連携協力を提言されました。交替される旧役員の方からは、今後も一会員として連盟活動を支援していきたいとの力強い言葉も聞かれ、心強く感じました。短縮総会（時短）で報告、議案等も静かにかつスムーズに進行され滞りなく終了しました。



現場の声を聞かせて下さい

## たかがい恵美子講演&意見交換会



多くの職場、施設から参加があり様々な職場の問題を共有ができた。

また、課題解決への道すじを考える事が研修参加した事で連盟の役割の理解、法律や制度について知識が得られ関心が深まったとの意見が多く聞かれた。

政治、社会問題が実際私達に関わり影響するのか理解出来た等の意見が多くあり連盟研修に一人でも多く参加してもらおう事が政治と看護連盟活動の意義理解につながるよい研修だった。

【開催日】 令和元年12月7日（土）  
 【研修名】 佐賀県看護協会・佐賀県看護連盟合同研修会  
 【講師】 参議院議員 たかがい恵美子  
 【参加者】 97名

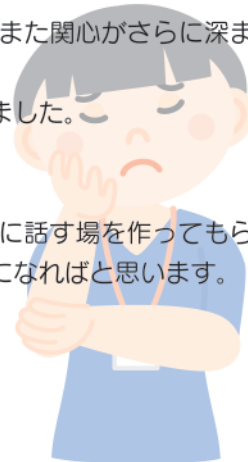


### 《現場の問題(自由記載)》

- ・子育て支援対策の不足について、育休や時短は取りやすくなっているが、残った人員で勤務（夜勤）をしている。
- ・意見交換会で他施設の問題を共有できた。課題解決への道すじを考える事の重要性を学んだ。
- ・たかがい先生との意見交換会の時間は特に大事な時間を設けて頂きありがたい感じています。皆さんの意見は同じ内容で思い悩んでいると実感しました。これからは是非、機会をお願いしたいと思いました。
- ・訪問看護職が特定行為をとることが佐賀県内訪問看護ステーションの課題になっているので、自ら動いて課題が解決できる方法があるのか、考えていこうと思います。
- ・看護職員に聞き取りをすると、不満ばかりで1つや2つはこの病院で働いてよかったなど聞いてみたい。そういう方向へいくように管理職として考えていかなければならないが、これからは看護連盟の研修に参加させたいと思います。
- ・連盟会員として自分のできることを考えなければ、仲間が広がらないと感じ、考えさせられました。
- ・連盟の役割について今まで以上に理解でき、大切であることが分かった。これが広がっていくと多くのNsが専門職としてのやりがいや達成感のある日々となると感じた。
- ・政治に関わる話しや、社会的に問題になっていることが、私達に実際どう関わっていて影響しているかを知ることができて良かったです。
- ・普段はあまりふれる機会のない法律や制度について、議会などの様子もふまえて聞くことができ、勉強になりました。参加して良かったです。
- ・たかがい先生のお話を聞いたたびに、様々な知識を得る事ができ、また関心がさらに深まる今日の講演が聞けた事に感謝します。
- ・普段あまり考えていなかった政治と看護について興味がわいてきました。
- ・今回、参加できて良かった。職員に伝えていきたいと思います。
- ・自由な意見発言は有意義でした。ありがとうございました。
- ・声を出さないと届かない。たかがいさんと佐賀県の看護職と身近に話す場を作ってもらったことを感謝します。課題はたくさんありますが、一つずつ解決に向けて働きやすい現場になればと思います。

### 《ユニテ記事についての意見》

- ・最近の動向を知ることができ、よく読ませて頂いています。
- ・Vol.29大変良かった。



# 研 修 会 報 告

## 5支部研修会



小森 康代先生

日 時：令和2年2月1日（土）  
 場 所：武雄市文化会館  
 テーマ：嬉野医療センターにおける緩和ケア看護師の活動  
 講 師：緩和ケア認定看護師 小森 康代先生（嬉野医療センター）  
 参加者：17名

### 《参加者の意見》

- ・ 連盟の研修会は、よいものが多いです。今後も参考にしていきたいです。
- ・ 身内を在宅で9か月看病しました。62歳で亡くなりましたが思いを受け止め我慢しないで生活してもらおう事、本人の気持ちに沿ってあげること、大変ですが大切なことと思います。リビングウイルの話を受けて良かったです。
- ・ 緩和ケア…とても重要で難しいと感じています。今日の講演を聞いて改めて毎日の声掛けやケアの中に常に患者様の思いを大切にしていく姿勢が必要だと思いました。
- ・ 意思決定への支援、関わりの難しさ大切さを学びました。人生を穏やかに過ごされるための緩和ケア、苦痛を軽減するなど、どのような援助をすればいいのか。勉強になりました。



## 4支部研修会報告

日 時：令和2年2月8日（土）  
 会 場：駅前南「アパホテル11階・ホール」  
 講 師：副田ひろみ（フリーアナウンサー、朗読講師）  
 参加者：37名  
 報 告：江頭恵美子（4支部長）



副田ひろみ先生

「石田まさひろ議員の2期目当選」の喜びを参加者の皆様と分かち合うと共に選挙へのご協力に感謝しました。そして、石田まさひろ議員の活動報告「いい看護の答えは現場にある」のDVD鑑賞し、現場の声を政策に生かして貰いたいと思いました。

前回に引き続き副田ひろみ講師による「いのちってすごい！～命とは何か？～豊かな人生とは何か？～」について講演会を行いました。身近に起こった出来事、長男を亡くした経験や、重度の障害を持って生まれた孫の成長を通して気付かされた「現状は変えられなくても、授けられた言葉によって受け止め方を変えることができる」「節目を考える」……と言うメッセージ等を、学ばせて頂きました。

参加者から「当たり前の日常を感謝しながら大切にしたい」「いろんな人との出会いを大切にしていきたい」等たくさん声がありました。



## 唐津支部研修会「みじかなヨガ」

日 時：令和2年2月8日（土）  
 会 場：虹の松原ホテル  
 講 師：Yoga studio ACTOMO 石井小旗 先生  
 報告者：山口 祐子  
 参加者：32名



オーシャンビューが、一望できる 虹の松原ホテルで、唐津支部の研修会を行いました。

「看護連盟について」の講義のあと、唐津では恒例になったヨガを開催しました。例年「癒しのヨガ」「自宅で出来るヨガ」などゆっくりしたヨガを行い、全身の血液の巡るのを感じられるのですが、今年は一変「エアロビクス」で息切れをしながらリズムに乗り先生についてゆくのやとで、ハードで笑いの絶えない内容でした。

日頃の運動不足、体力低下を思い知りました。



### 3支部代表者会議



テーマ：地域で災害が発生した時の看護支援  
 講師：災害支援ナース 大曲 市悦先生  
 日時：2020年2月13日（木）  
 場所：伊万里有田共立病院  
 報告：岡部 恵子（3支部長）



新型コロナウイルスの影響により活動が制限された中で皆様いかがお過ごしでしょうか。一年の中で一番良い季節なのに残念ですね。一方、家の中で過ごすことにより普段できなかったことができ新しい発見もできているのではないのでしょうか。

日本は、災害の多い国です。しかし、自分の住んでいる地域は大丈夫と思っていませんか。ところが西日本豪雨や佐賀県豪雨災害を経験し他人事ではないと思えてきたのではないのでしょうか。気になっていても、施設として何から手を付けていいのか分からないのが現状ではないかと思い、今回研修会を行いました。7施設の代表者の方が集まっていただきました。研修会後の質疑応答では「各勤務場所での体制作り、看護職としての心構え、地域での横の連携の大切さ、トリアージの大切さ、県・国との連携の大切さ等」を学びました。又、生々しい災害現場での映像や罵声が飛び交う医療現場の様子を目の当たりにし、出席者に実感がわいてきたようです。これを機に地域での取り組みが進んでいけばと思いました。連盟活動がお手伝いできれば幸いです。

最後に、当会議をするにあたりご協力いただいた代表者の方に感謝申し上げます。

### 2支部研修会報告

日時：2020年2月15日（金）  
 場所：ゆめぷらっと小城

テーマ：新型コロナ肺炎の最新情報について  
 講師：衆議院議員 古川 康先生

テーマ：発達障害の特性をもつ子どもやおとなを理解する  
 講師：佐賀大学医学部看護学科  
 小児看護学 鈴木千恵子先生  
 参加者：31名  
 アンケート回収率：80%



古川 康先生

#### 《アンケートより》

参加者の88%が病院に所属しており、72%が看護職の参加であった。研修参加の動機は、「上司の勧め」が16名と最も多く、次いで「講義内容に興味があった」「講師に興味があった」であった。



鈴木千恵子先生

研修についての理解度は、全員が「よく理解できた」、「理解できた」と回答しており、「発達障害をもつ子供たちを受け持つため、対応や家族との関わり方を学べた」「体験にもとづく話が迫力があってわかりやすかった」との意見があり、講師の経験を基にした話が、より理解に繋がったのではないかと考える。研修の満足度に関しては、全員が「満足できた」「ほぼ満足できた」と回答しており「伝え方の工夫をすること、母親に対しての言葉かけなど振り返る貴重な時間でした」「先生の実体験でお話いただいたので、とてもわかりやすく勉強になりました」との意見があり、満足度の高い研修であったことが伺える。今後の仕事の中で、役に立つ内容だったかの質問に対しては、「とてもそう思う」と回答したものが44%、「そう思う」と回答したものが56%であった。「スタッフに発達障害のような方がいる為、まず曖昧な言葉ではなく細かく伝える事。変更がある場合は事前になるべく早く伝わることからはじめてみようと思う。できている事を認める努力をしたい。」といった具体的な意見が多く、研修で得た知識や思考を実践に活かして欲しいと考える。



## 佐賀県看護連盟青年部委員長新任の挨拶

佐賀県看護連盟 (新)青年部委員長 吉井 雅浩



この度、青年部委員長として務めさせていただくことになりました。今年度は、新型コロナウイルスの蔓延にはじまり、現状も大変苦しい中ではありますが、全国をはじめ佐賀県内の看護職のみなさまの尽力により、感染の拡大をくい止めることができているのではないかと思います。今はまだ、先々の見通しが明らかなものではありませんが、われわれ看護職の力が最も必要とされる時代になっているのではないかと思います。そのような時代の中で、看護連盟には、現場で働く看護職の思いをひろいあげ、政治の場へ届ける大きな責務があります。私たち青年部は、その一助となるよう、今年度も連盟会員の増加につながる活動を行っていきたく考えています。自粛を要する現状の中でも、会員数の増加につながる活動を企画・運営していきたくと思っています。みなさま大変な中ではありますが、今年度も何卒よろしくお祈いします。

## 令和元年度 青年部ブロック会議 (九州ブロック)

令和1年12月21日 (土) 13時~17時

長崎市立図書館 新興善メモリアルホール

佐賀大学医学部附属病院 吉井 雅浩

九州各県連盟青年部の活動内容の報告から、現状と課題が明らかになった。各県ともに、連盟主催の研修の集客数の増加を目指した様々な取り組みを行っていた。長崎県が行う出張型の研修では、県内24施設、500名以上の参加者を獲得している点から、会員数の増加を目指した活動として参考になった。佐賀県は、参加型による集客増加と看護学校訪問による会員数の増加を行っているが、今後は現行の方針を継続しながら他県の取り組みを参考にして活動を拡大していければと考える。青年部活動の共通課題として、選挙に関連した政治色が、看護職個人の関心の低下を招いているのではないかという意見もあった。看護協会の研修による成果は参加者個人のものとして直接的な影響があるが、看護連盟の活動は、看護職個人の生活に直結していない不透明な活動になっては関心が得られないのではないか。看護職議員の政策による成果や、生活に直結した危機や、未来を見据えたビジョンを明確化して伝えていくことが、活動を行っていくうえで最も重要ではないかと感じた。

## 自民党さが青年局政治大学校「ニューリーダー育成塾(第11期)」

令和2年2月5日(水)~6日(木)1泊2日

修習会 藤崎病院 野添 貴士

「自民党だからこそ目指すことができる未来がある」今回の研修はその一言に尽きると思う。自民党本部で、自民党員の意義に始まり、外交問題の捉え方、新幹線西九州ルート開線による人やモノの移動についてなど、普段耳にする外側からの情報ではなく、今、実際に動かし、決定を下している内側からの情報を聴くことができこれほど有り難いことはないと思った。

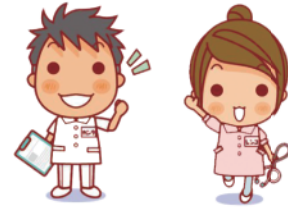
講義の中で、自民党だからと油断をするな、与党だからこそ謙虚に、若者(青年局)は党内野党だ、と言われていた。変わり続ける情勢の中で柔軟に対応するには、あらゆる角度から物事を見て目線が違う者と議論を続け見識を広げ続けなくてはならない。今回、佐賀県内各地の方々と同じ目線で学ばせて頂いたことはとても有意義であり特に、横のつながりができたことは今後の連盟の研修等に生かすことができると感じた。立場の違う者が集まると同じ事柄でも意見や見方が変わるため、見聞を広めることができる。選挙に勝つことが目的ではなく、看護をよくするための活動を続けていこうと改めて思った。





# まめ知識

## ～ 人類と感染症について～ 増田神社 (肥前町)



人類と感染症は常に闘ってきた歴史だと言えます。

ミイラの中から、感染症に罹った証拠が発見されたり、歴史上の人物では、平清盛は、感染症で亡くなったとも言われています。昔から、人類の生命を脅かす存在が、感染症なのです。

感染症は、何かに寄生することで、遺伝子を残していきました。人類も、また、感染症に立ち向かうために、免疫を獲得したり病気に合わせて遺伝子を変えていきました。その例として、アフリカの国でみられる鎌状赤血球です。



それは、丸い赤血球とは違う形をしています。まさしく鎌の形をしている赤血球です。この赤血球は、貧血になりやすい代わりにマラリアに罹りにくいのです。つまり、アフリカでは、貧血で死ぬリスクよりもマラリアで死ぬリスクが高いため、遺伝子が長い歴史の中で変化したと言えます。このように、人類は、感染症に打ち勝つために進化していきました。

しかし感染症も同じく進化・変異していきます。それらに対して私たち人間は、英知や科学、薬品(抗生剤・ワクチン)の開発で立ち向かっていかななくてはなりません!!人類と感染症の闘いは、終わりはないのです。

身近な話題としては・・・博多祇園山笠は、1241年博多で疫病が流行した際に、疫病退散を祈願したことが、発祥とされています。



佐賀県肥前町には、明治28年に肥前町高串地域でコレラが集団発生した際、その当時防疫の役割であった警察官増田巡查(27歳)が、不眠不休で防疫態勢や患者の手当等を行い、町の感染症は終息しました。それを見届けた後、自らもコレラで殉職。

その功績をたたえられ全国唯一の警察神として尊ばれ、地域の神社として祀られています。

(広報：宮崎)

## 要望書提出しました!!

佐賀県看護連盟は、「危険手当」及び「妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員の雇用支援」を内閣府の臨時交付金として要望を行いました。その結果5月には、複数の都道府県看護連盟からは、すでに危険手当が予算化されたなどの嬉しい報告が届いています。

佐賀県看護連盟としても、県行政や県議会に精力的に働きかけ、効果的な新型コロナ感染症対応に向けて、地域の実情に合わせて、柔軟に実施計画が行われるように、要望書を提出しました。



### 要望としては、以下の通りです。



- ① 危険手当の大幅な増額、対象看護職個人に支援する事
- ② 妊娠中の看護職員の休業に伴う代替職員を雇用した場合の補助金



《施設紹介》



当事業所のロゴです

杵藤訪問看護  
リハビリステーション **ふみ**

住所：杵島郡白石町大字深浦 126-1  
事業所番号：4161690054  
電話：0954-68-0205

当事業所は平成29年4月に開設し、おかげさまで4年目を迎えることとなりました。利用者様やご家族様の色々なニーズに親切、丁寧、柔軟に対応できるようスタッフ一同心掛けております。また利用者様の活動性の向上を目指し、安心して在宅生活を過ごせるよう、看護師3名、理学療法士3名が協力、連携しながら日々取り組んでおります。



口腔ケア中です



バイタルチェック中です

看護師と理学療法士が協働する事の強みは、互いの専門的視点をケアに取り入れることができるということだと思います。活動性の向上が更に向上することを目指しています。今後は、地域に貢献できるようなステーションづくりを目指します。



水と、空気と、睡眠と。

Lumone



マウンテンキルト掛けふとん

よく眠った人には、かなわない。



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

『桃井かおりの工場見学』  
をご覧ください！



東洋羽毛九州販売株式会社 長崎営業所  
〒856-0046長崎県大村市木場2丁目200-1  
TEL:0957-54-5044 FAX:0957-54-5592  
0120-104203 URL https://www.toyoumo.co.jp

世界に誇れる羽毛ブランド  
**HARUO DOWN**



編集後記

新型コロナウイルス感染症により医療機関に大きな影響が及び大変な思いをされている事と思います。看護職を守るため看護連盟の活動を知ってもらうためにユニテ作成を行っています。看護職の皆さま一人ひとりの暮らしが守られますようお願い力を合わせて頑張っていきましょう。